

ワークショップ

中国の「一带一路」構想と AIIB をどう捉えるか？

主旨

中国の二つのシルクロード計画「一带一路」と AIIB を、どのように捉えればよいのでしょうか。「一带一路」は外交政策のみならず、経済政策をも内包し、その対象地域と論点は多岐に渡ります。AIIB も同様に、単なるインフラ投資を超えた論点も視野に入れざるを得ません。そこで本ワークショップでは、東京大学の現代中国研究拠点事業と日本貿易振興機構アジア経済研究所の関係研究者を集め、論点としては構想の背景、外交政策としての特徴、対外援助の観点からの示唆、広域インフラ事業としての意義を取り上げ、さらに東南アジアとアフリカの専門家の参加も得ることで、多角的視点から「一带一路」構想と AIIB を議論します。

共同主催：

東京大学現代中国研究拠点事業、日本貿易振興機構アジア経済研究所

※ 事前申込制・参加無料

日時：2015年9月9日（水）午後2時から午後6時

会場：東京大学本郷キャンパス 赤門総合研究棟5階センター会議室（549号室）

（末尾の地図をご参照下さい）

共同司会：末廣昭（東京大学社会科学研究所教授）

平野克己（アジア経済研究所地域研究センター上席主任調査研究員）

タイムテーブル：

午後1時半 受付開始

午後2時 ワorkshop開始

午後2時～午後2時10分 趣旨説明（末廣昭）

午後2時10分～2時45分 報告者①伊藤亜聖（東京大学社会科学研究所講師）

「中国の一带一路構想：その背景と戦略的目的」（仮題）

午後2時45分から3時20分 報告者②川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）

「中国の一带一路構想と AIIB：中国の外交政策の観点から」（仮題）

午後3時20分から3時55分 報告者③北野尚宏（JICA 研究所副所長）

「中国の一带一路構想：中国の対外援助戦略の観点から」（仮題）

午後 3 時 55 分から午後 4 時 30 分 報告者④梅崎創 (アジア経済研究所新領域研究センター、経済統合研究グループ長)

「ASEAN の経済回廊開発と中国の一带一路構想」

午後 4 時 30 分から 4 時 45 分 休憩

午後 4 時 45 分から午後 5 時 55 分

質疑応答と討議 4 名のパネル討議

午後 5 時 55 分から午後 6 時 閉会の辞 (平野克己)

参加申込先:

※ 自身のお名前、ご所属先、職名、連絡先などをご記入の上、下記のメールアドレスに申し込みをしてください。なお、記載していただいた個人情報はワークショップ開催の目的以外には使用いたしません。

※ 定員 50 名 (事前申込制)。定員に達し次第、受けを終了いたします。

(1) 東京大学社会科学研究所 現代中国研究拠点特任助教

薛軼群 (せつ イグン) xueyiqun@iss.u-tokyo.ac.jp 03-5841-4961

(2) 日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究企画課

info@ide.go.jp 043-299-9526

